

小型破裂脳動脈瘤の治療と予後に関する研究

1. 研究の対象

2006年1月1日から2026年4月30日の期間に、主管施設及び研究協力機関において治療された脳動脈瘤症例のうちで以下の全てを満たすものとします。

- 1) 内頸動脈瘤および脳底動脈瘤
- 2) 後大脳動脈もしくはその分枝に脳血管バイパスが行われた症例
- 3) 動脈瘤血流の改変目的に後大脳動脈もしくは後交通動脈を遮断した症例（不完全遮断に終わったものを含む）

2. 研究目的・方法

脳動脈瘤の中で、内頸動脈瘤や脳底動脈瘤で瘤自身から流量の多い後大脳動脈が分枝している場合は治療が困難で、破裂や増大が制御できなくなることが多いです。このような例に対しては脳血管バイパス術を併用した後大脳動脈への治療的閉塞が有効である可能性があります。本研究では、これらの難治性脳動脈瘤に対する脳血管バイパス術を併用した後大脳動脈の治療的閉塞を集積し、その治療成績と予後を調査することを目的とします。研究期間は、倫理委員会承認日～2030年12月31日とします。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：脳動脈瘤の大きさと部位、治療方法、治療による後遺症、治療後の動脈瘤の破裂増大、等

4. 外部への情報の提供

高知大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

福田 仁	高知大学医学部附属病院 脳神経外科准教授
瀧澤 克己	旭川赤十字病院 副院長、脳神経外科部長
太田 仲郎	札幌禎心会病院 脳神経外科部長
原 貴行	虎の門病院 脳神経外科部長
吉野 正紀	東京警察病院 脳神経外科部長
出雲 剛	岐阜大学医学部附属病院 脳神経外科教授

木村 英仁	神戸大学医学部附属病院 脳神経外科准教授
阿美古 将	JA 尾道総合病院 脳神経外科主任部長
小林 広昌	福岡大学病院 脳神経外科講師

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1、TEL: 088-880-2397

研究責任者：高知大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 福田 仁

研究分担者：高知大学医学部附属病院 脳神経外科 教授 上羽 哲也

-----以上